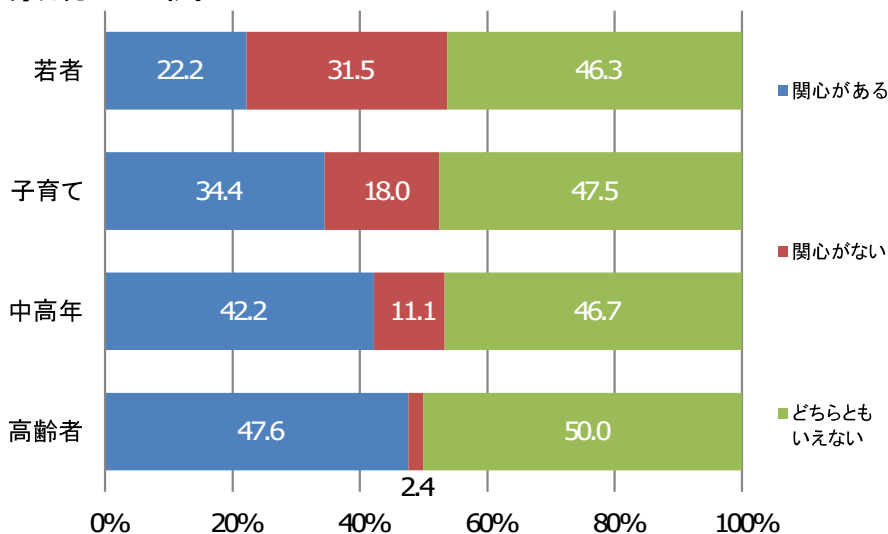
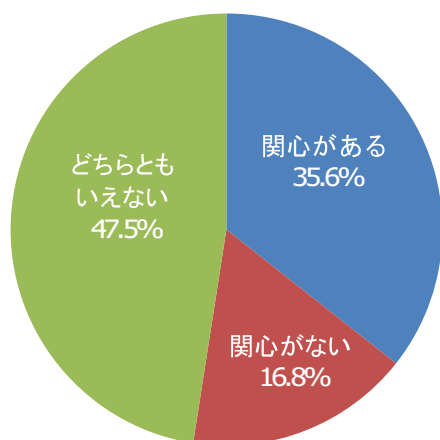


<防災・減災の祈りが息づく景観(歴史・文化資源が一体となって醸し出す景観)について>

問1 防災・減災の祈りが息づく景観への関心

(n=202)



■ 防災・減災の祈りが息づく景観への関心については、「関心がある」が約4割となっています。

■ 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「関心がある」の回答割合が高くなっています。

問2 魅力を感じる防災・減災の祈りが息づく景観

(n=202 複数回答)

		若者	子育て	中高年	高齢者
安政東海地震による津波の避難場所となった岐佐神社がある舞阪の景観	19.8%	16.7	23.0	17.8	21.4
地震厄除けの細江神社があり度重なる震災・津波から復興した気賀の景観	16.3%	11.1	13.1	24.4	19.0
二俣川の治水に尽力した袴田喜長の顕彰活動が継承されている二俣の景観	17.3%	20.4	13.1	24.4	11.9
奈良時代の天宝堤や江戸時代の彦助堤など天竜川治水の歴史が残る浜北の景観	20.3%	18.5	11.5	31.1	23.8
地震で猪鼻湖に沈んだといわれる沖の瀬御殿伝説がある三ヶ日の景観	26.2%	27.8	24.6	28.9	23.8
新宮池の大蛇伝説など災害関連の伝承が今に伝えられている春野山村の景観	12.4%	11.1	9.8	17.8	11.9
金原明善が礎を築き治水のための植林が行われた天竜川中流の林業の景観	36.6%	24.1	29.5	44.4	54.8
火防の神・秋葉山の参詣道として常夜灯などが残る秋葉街道の景観	37.1%	20.4	29.5	55.6	50.0
その他	2.0%	-	1.6	4.4	2.4
特になし	28.2%	40.7	29.5	24.4	14.3

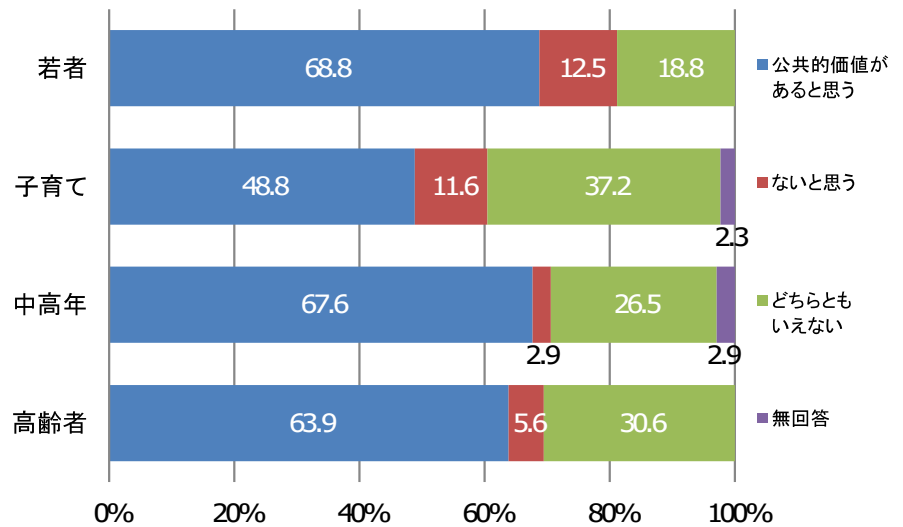
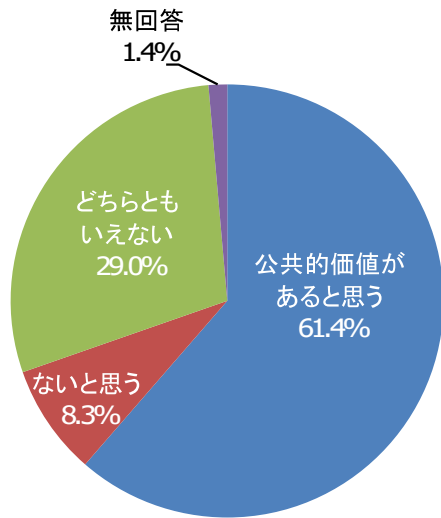
■ 魅力を感じる防災・減災の祈りが息づく景観については、「火防の神・秋葉山の参詣道として常夜灯などが残る秋葉街道の景観」が約4割と最も多い回答となっています。

■ 世代別にみると、子育て・中高年では「火防の神・秋葉山の参詣道として常夜灯などが残る秋葉街道の景観」が、高齢者では「金原明善が礎を築き治水のための植林が行われた天竜川中流の林業の景観」が最も多い回答となっているものの、若者では「特になし」が最も多い回答となっています(子育てでは「金原明善が礎を築き治水のための植林が行われた天竜川中流の林業の景観」と「特になし」も同率)。

問3 防災・減災の祈りが息づく景観は「公共的な価値」を持っていると思うか

(n=145)

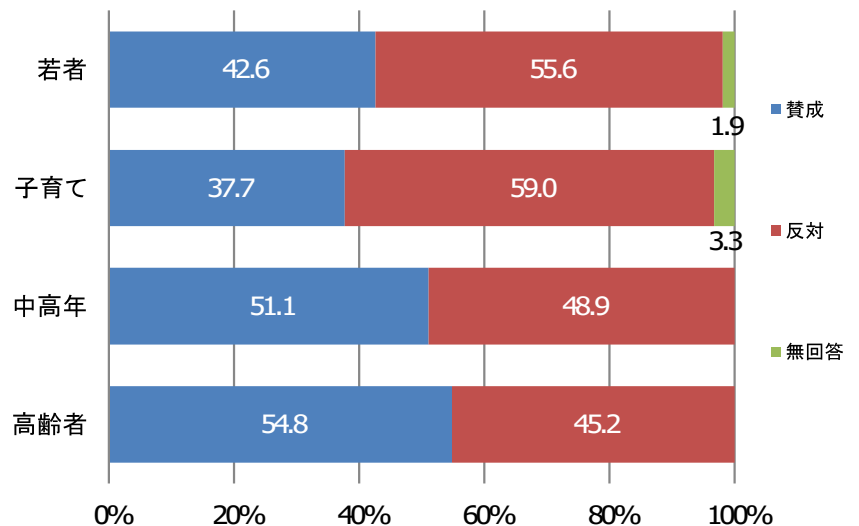
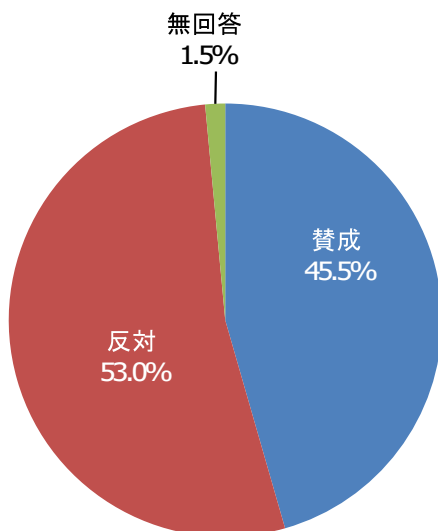
(問2で「1～9」のいずれかを回答した方)



- 防災・減災の祈りが息づく景観は「公共的な価値」を持っていると思うかについては、「公共的価値があると思う」が約6割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年の約7割、子育ての約5割、高齢者の約6割が「公共的価値があると思う」と回答しています。

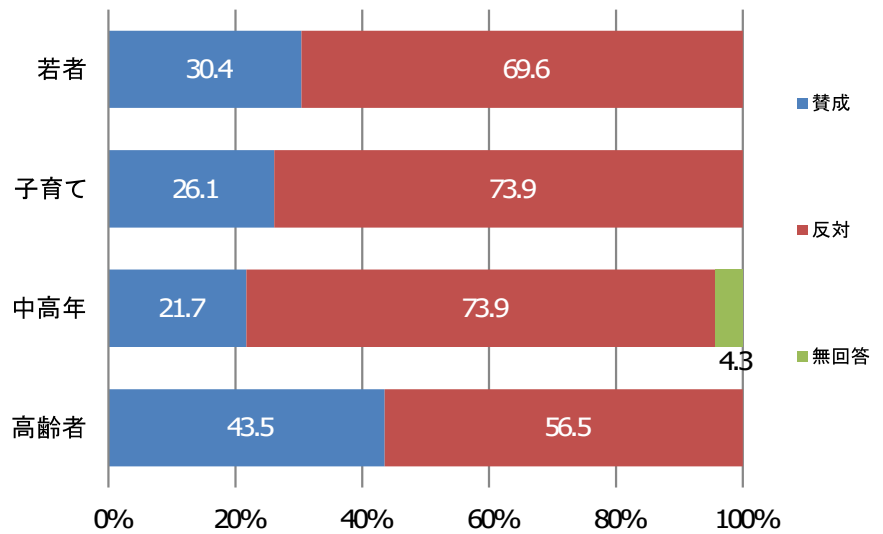
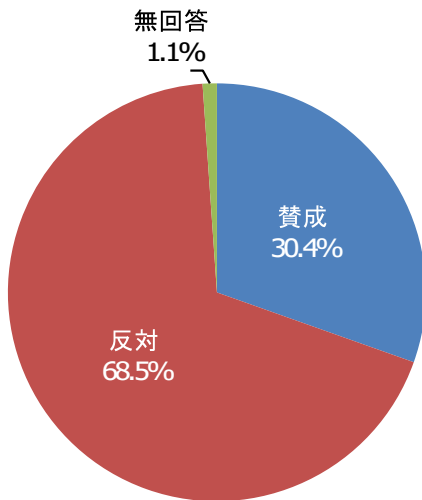
問4 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間1,000円の寄付をすることについて

(n=202)



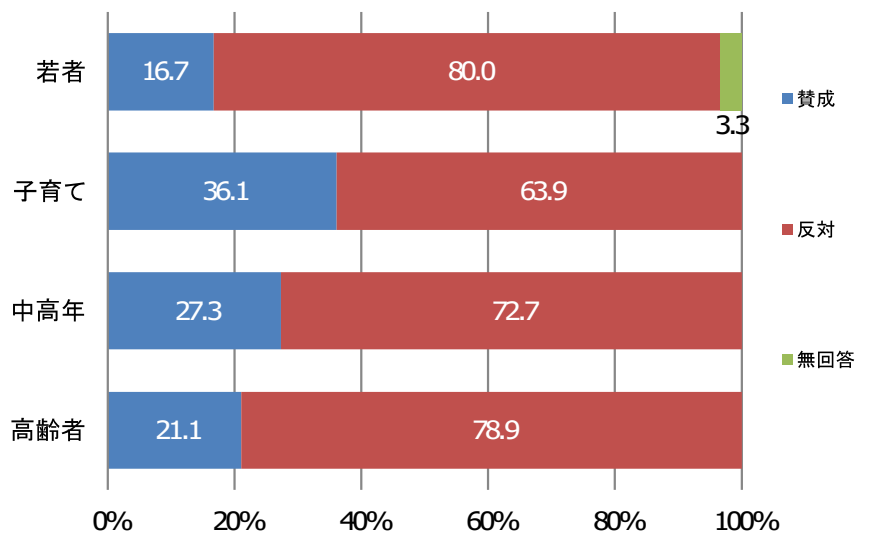
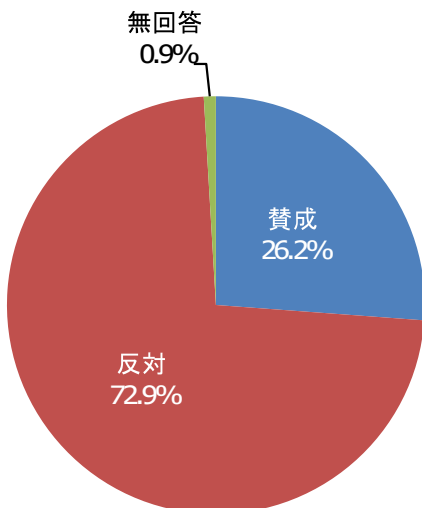
- 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間1,000円の寄付をすることについては、「反対」が多いものの、「賛成」「反対」とともに約5割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「反対」が多く、中高年・高齢者では「賛成」が多くなっています。

■ 問5 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間2,000円の寄付をすることについて (n=92)
(問4で「1 賛成」と回答した方)



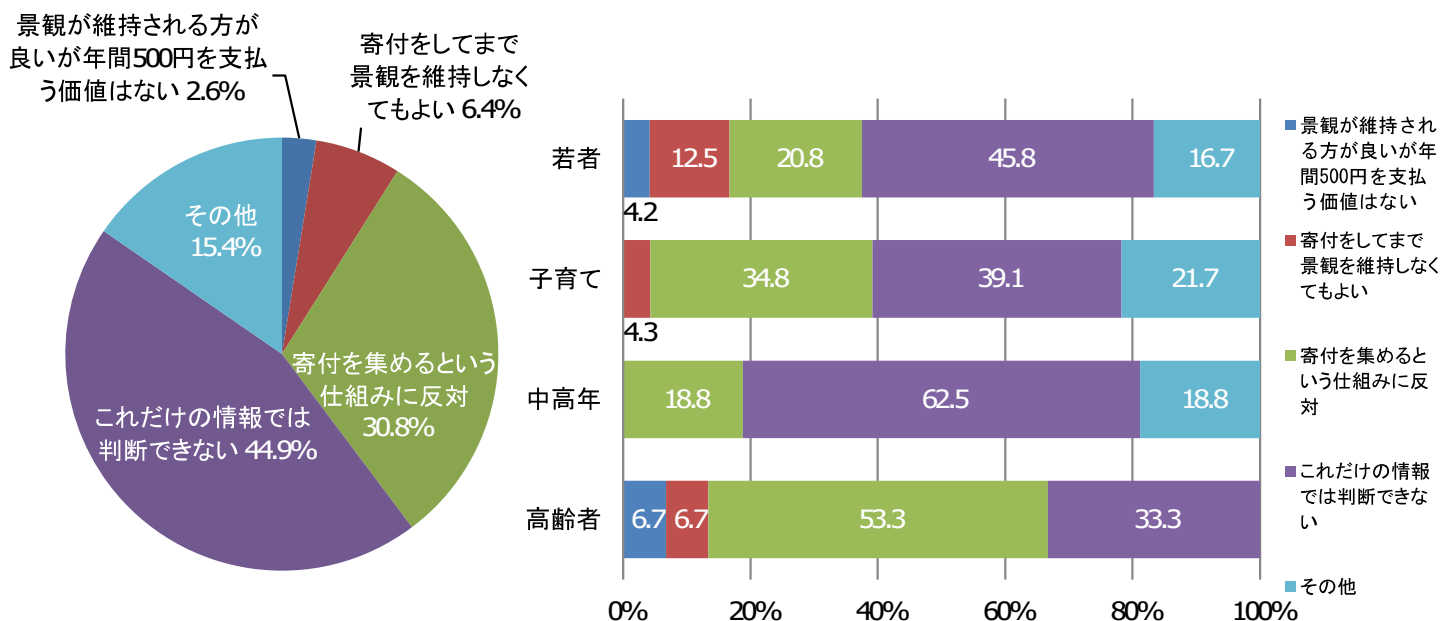
- 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間2,000円の寄付をすることについては、「反対」が約7割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「反対」が多くなっています。

■ 問6 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることについて (n=107)
(問4で「2 反対」と回答した方)



- 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることについては、「反対」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・高齢者の約8割、子育ての約6割、中高年の7割が「反対」と回答しています。

■ 問7 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることに反対の理由 (n=78)
(問6で「2 反対」と回答した方)



- 防災・減災の祈りが息づく景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることに反対の理由については、「これだけの情報では判断できない」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「これだけの情報では判断できない」が、高齢者では「寄付を集めるという仕組みに反対」が最も多い回答となっています。